

# Capture the Fracture® パートナーシップ 政策立案ガイドンス

## 要約

### 表題

脆弱性骨折は数百万人規模の身体障がい者(成人)に影響を及ぼすとされる骨折であるが、一方で科学的且つ臨床的に立証された効果的な治療により予防可能である。

### 問題

脆弱性骨折の影響は世界全体で数百万人に及ぶとされている。2025年には骨折件数が1350万件/年にまで上昇し、世界全体の医療費は約4000億米ドルに達すると想定されている。これは政策立案者が長年にわたり見過ごして来た問題であり、今後も人口の高齢化が進むにつれて指数関数的に増加していくと予想されるが、**解決策は存在する**。

### 解決策

Capture the Fracture® パートナーシップ - 政策立案ガイドンスは数十年に渡る専門的且つ厳密な研究に基づき、患者の予後を改善するのみならず、医療費削減及び健康寿命延伸に向けた政策体系構築をベースとする段階的アプローチを提唱する。対象患者を二次骨折における高リスク患者群(骨折既往歴のある患者)とした**骨折後ケア**が定義されている。ガイドンスは実践的な政策立案に関する4項目から構成される。



#### 骨折の早期発見

治療を必要とする骨折患者を確実に把握する



#### 適切な骨折治療

特定された対象患者に対し世界基準の骨折後ケアを提供する



#### 生涯にわたる骨折予防

公衆衛生領域における直接的な対策を通し健康寿命の延伸を実現する



#### エンゲージメントの向上

問題及び解決策に対する公衆理解を促す

## 総評

脆弱性骨折は他の慢性疾患同様自然治癒が困難とされる疾患である。しかし、他の疾患とは対照的に臨床試験データに基づいた治療方法が確立されており、確実に治療可能でもある。適切な治療を行うことによって**骨折件数を50%以下にまで減少**させることが可能となり、その結果**医療費の削減**、更に**患者の生命予後改善**に大きく貢献する。



The  
Health Policy  
Partnership

発行: IOF  
協賛: Amgen, UCB  
連携: University of Oxford